**令和６年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ**

**佐賀市立新栄小学校**

　４月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため，児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに，児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

　結果を基に，本校児童の学力の傾向を分析し，学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

**■　調査期日**

　　　令和６年４月１８日（木）

**■　調査の対象学年**

　　　　小学校６年生児童

**■　調査の内容**

　（１）　教科に関する調査（国語，算数・数学）

|  |
| --- |
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。  ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。  調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。 |

（２）　生活習慣や学習環境等に関する質問調査

|  |  |
| --- | --- |
| 児童（生徒）に対する調査 | 学校に対する調査 |
| 学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査  （例）学習に対する興味・関心，授業内容の理解度，基本的生活習慣，家庭学習の状況　など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査  （例）授業の改善に関する取組，指導方法の工夫，  学校運営に関する取組，家庭・地域との連携の状況　など |

■調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり，教科は国語と算数・数学に限られています。さらに，出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって，この調査によって測定できるのは，「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上，ご覧ください。

**■　調査結果及び考察**

**１　国　語**

（１）結　果

　　　全体での正答率は，全国を１．７％下回りましたが，「書くこと」は全国平均正答率を上回っています。終わりの問題になるほど，無回答の割合が高くなっていました。

（２）成果と課題

　　　　今回の調査で，「書くこと」の正答率が全国平均正答率を３．７ポイント上回りました。課題は，目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め伝え合う内容を検討する問題です。問題や資料の中から情報をくみ取ることと，問題の形式に慣れていないことに困難さを感じていると考えられます。児童の記述力を高めることは，「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。また，単なる「知識」を問う問題ではなく，「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので，授業改善を通して，日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

（３）　学力向上のための取り組み

**【学校では】**

○子どもが主体的に学べるように，授業の在り方（主体的・対話的で深い学び）を工夫することで，子ども同士が話し合いながら，深く学んでいけるようにします。

○授業で，ピックアップされた言葉の中から自分で言葉を選んでまとめを書いたり，新栄っ子カードの3行日記で条件付き作文に取り組んだりする場面を増やしたりすることで，情報を選択して条件に沿って書くことに慣れさせていきます。

○漢字の読み書き，ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに，辞書やタブレットを活用させ，語彙力を増やします。

○インタビュー，案内や紹介など，日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

　習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで，表現力を向上させていきます。

**【ご家庭では】**

○音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで，文の構成，言葉の意味を理解し，文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み，要点や意図を捉えることは，国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。

○読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み，いろいろな表現や用語にふれることで，語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や書店に定期的に行くことも，お子さんの読書習慣をつける上でおすすめです。

**２　算数**

（１）結　果

全体での正答率は全国平均を０．６ポイント上回っており，ほぼ全国平均と同等の結果でした。「数と計算」「図形」「データの活用」は全国平均上回っています。終わりの問題になるほど，無回答率の割合が高くなっていました。

　（２）成果と課題

今回の調査では，「A数と計算」の領域の正答率が０．４ポイント，「B図形」の領域の正答率が２．３ポイント，全国平均正答率を上回っていました。電子黒板を使い視覚的な資料を使いながら授業を工夫した結果の表れです。しかし，「C変化と関係」の領域の，道のりが等しい場合の速さについて，時間を基に判断し，その理由を言葉や数を用いて記述する問題に課題があり，正答率が３８．６％でした。今一度，単位量あたりの大きさや速さなど数量の変化について復習する必要があります。今後も電子黒板やタブレット端末等のICTを有効に使いながら，日々の授業で，「なぜそうなるの？」「もっと簡単にできない？」「どちらがわかりやすい？」等の児童の思考を促す発問を更に増やし，説明する活動，書く活動を継続して取り入れたいと思います。

（３）　学力向上のための取り組み

**【学校では】**

○式の意味を考えさせ，自分で求めた式や答えが問題に合っているかを確認させたり，式から生活場面を想起させたりしながら，式，図，具体的場面を行き来させるようにします。

○様々な見方や考え方ができるように，グループで話し合う活動を取り入れていきます。また，自分の考えを，式や言葉を使って，論理的に書く機会を増やし，記述力の向上に努めます。

○個に応じた指導，ノート指導，プリント，ドリル，家庭学習など，日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ，補充指導に努めます。

**【ご家庭では】**

〇お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になり，たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。

〇算数が好きにするには，「習ったことが生活の中で使えて，便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など，ちょっと意識するだけで，身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

**３　生活習慣や学習習慣に関する調査**

（１）結果

　≪生活習慣・挑戦心・規範意識について≫ 　　　　　　　↑本校優位　　↓本校劣位

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査項目 | 本校　％ | 全国平均 ％ |
| 朝食を毎日食べていますか。 | 87.5％↓ | 93.7％ |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 79.2%↓ | 82.9% |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 | 97.2%↑ | 91.6% |
| 自分にはよいところがあると思いますか。 | 83.3%↓ | 84.1% |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | 100%↑ | 95,9% |
| 将来の夢や目標をもっていますか。 | 94.4%↑ | 82.4% |
| いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 100%↑ | 96.7% |

朝食，就寝については，やや全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。継続して家庭と学校で協力しながら，習慣化していきましょう

　挑戦心や規範意識，将来への展望については，肯定的な回答の割合が多いものが多かったようです。

≪家庭学習の様子≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査の項目 | 本校％ | 全国平均 ％ |
| 学校の授業時間以外に，普段１日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「３時間以上」 | 9.7%↓ | 11.0% |
| 「２時間以上，３時間より少ない」 | 8.3%↓ | 12.5% |
| 「１時間以上，２時間より少ない」 | 25.0%↓ | 31.1% |
| 「３０分以上，１時間より少ない」 | 29.2%↑ | 27.0% |
| 「３０分より少ない」 | 22.2%↑ | 13.0% |
| 「全くしない」 | 5.6%↑ | 5.3% |

　　家庭学習については，「１時間以上勉強している」（本校43.0%,全国54.6%）で10ポイント以上本校児童が下回っています。全く家庭学習をしていない児童も全国平均を上回っており，学習時間に関してはかなり個人差が見られるので，家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するような指導，及び自分の目標に向かって，計画を立てて家庭学習を行う習慣についても継続的に指導していきます。

（２）改善に向けての取り組み

**【ご家庭では】**

○規則正しい生活と家庭学習の定着を図ることは，子どもの健やかな成長のために極めて大切なことです。お子さんが自分からできたとき，少しでも向上したときを逃さず，褒めることで意識が更に高まります。

○年度初めに配付された「家庭学習の手引き」をご覧になり，学習時間の目安や，自主学習の説明を参考に，自分で決めて学習できるように励ましてください。

**【学校では】**

○学校からは，学年に応じた宿題（漢字，計算，プリントなど）を出しています。自主学習（自学）についても高学年で取り組み，お手本になる自学ノートを掲示して定着しつつあります。中学年にも少しずつ広げていきます。

○始業前（８：０５～８：１５）の朝の読書の推奨をしたり，図書委員を中心に読書イベントをしたり，マザーズさん（地域の読書ボランティア）による読み聞かせをしたりするなど，読書の機会を増やすための工夫をしています。子どもたちも楽しみにしています。これからも継続していきます。